

福島南ロータリークラブ会報



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/72名 出席/47名 出席率/65.28%

メークアップ/25名 修正/72名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日のお客様は高槻ロータリークラブ 丸山 俊郎様です。遠いところお出でいただきありがとうございます。心より感慨申しあげます。またスマイリングBOXにご寄付いただき有難う御座いました。菅原節子会員退会のため、空席となっております。また創立50周年記念実行委員長に鈴木恒昭会員が理事会で推挙され満場一致で承認されました。

先日、福島成蹊高等学校よりロータリー奨学生の進路報告が来ております。3年生の黒沢佳奈さんは国際医療福祉大学・看護学部へ合格されたとのことです。

さて前回の例会で紹介いたしました北タイ・山岳集落に住むアカ族の子供たちの「識字率向上奉仕」に12年間現地で献身的な奉仕活動をされている原田義之先生を是非当クラブでも支援していこうではありませんか。原田先生を支援する国内ロータリアンと一緒にして第11回千葉大会が5月11日に開催され、当クラブから大橋バスターガバナーが参加されました。二本松ロータリークラブさんも地区WGS資金や地区補助金を使って浄水器等の支援をされており、「アカ族里親支援基金」のスポンサーとなりクラブには4名の里親がおられると聞いております。年間5万円の「里親支援基金」のスポンサーには是非手を上げてください。「里親支援基金」は3年間継続をお願いします。そして「行動する奉仕」を実践して北タイの「輝く瞳」に会いに行こうではありませんか。

さて年度も最終段階にさしかかってきましたが、先週18日(土)地区研修・協議会がバールセいざで開催されました。鈴木光一エレクト・菅野良二次期幹事・参加者の皆様ご苦勞様でした。今週25日(土)は第46回ローターアクト地区年次大会が郡山で開催されます。現在ローターアクト共同提唱に向けて取り組んでおりますので、情報収集と意見交換のため当クラブより私が参加してまいります。

地区青少年奉仕委員会はすでに次年度の活動が始まっております。インターアクト・ローターアクト・青少年交換それぞれ当クラブも密接な関係がありますので、次年度青少年奉仕委員会のメンバーは活動内容の引き継ぎをよろしくお願いいたします。青少年交換留学生の件ですが、メキシコより男子留学生受け入れの話が審査中です。詳しくは鈴木年度第1回理事会で審議される予定となっております。

地区研修・協議会報告 鈴木 光一 会長エレクト



5月18日(土)に、第2530地区・地区研修協議会がバールセいざで開催されました。協議会前の9時20分より、会長・幹事会があり2018-19年度中間決算と地区大会の決算報告があり、続いて2019-20年度の行事予定の発表・次年度の地区賦課金の承認がありました。

2019-20年度地区予算(案)については、当クラブの理事会でも青少年奉仕の賦課金の値上げについて取り上げられましたが、福島北RCの方から青少年奉仕の賦課金の負担額質疑応答があり予算案については採決がとられ地区65クラブ中、欠席3・賛成49票・反対13票で予算案は可決されました。

また今年度まではポリオ撲滅でしたが撲滅からポリオ根絶にむけての取組になって行くようです。根絶迄あと2国だそうです。午前10時から平井ガバナーが開会点鐘し地区協議会が始まりました。11時より午前の部のメインであります「公共イメージについて」と題して、第2570地区・埼玉県の吹上RCの鈴木秀憲様より講演を頂きました。

鈴木秀憲様は2度目のガバナーに次年度就任する予定との事です。午後からは各分科会の会場にそれぞれ移動し12時50分からセッション1(60分)・14時05分からセッション2(60分)委員会ごとに研修を受けてまいりました。

夕方16時まで、参加されました地区委員会の方や当クラブ各委員長さんご苦勞さまでした。次年度のマーク・ダニエル・マローニ 国際RI会長のテーマ、「ロータリーは世界をつなぐ」をテーマのもと今年同様に皆様より暖かいご支援を頂きますようお願い申し上げます。報告とさせていただきます。

来訪者ご挨拶 高槻ロータリークラブ 丸山 俊郎 様



高槻ロータリークラブは今年65周年を迎えまして、私も30年ほどRCに在籍しており、何か出来る事がないかと思っていたところ、たまたまこちらに用事があって来たものですから、まだ震災の方々が3,800人位仮設住宅の方におられると言うことで、そのような方々に少しでも役に立てばと思いついて、個人的にご寄付をさせて頂きます。

高槻ロータリークラブは京都と大阪の丁度中間都市で人口は36万ぐらいです、特に地産産業というのはありませんが、人口の中では割と大きな都市です。

高槻ロータリークラブは、65年前は一つでしたが、その後、高槻西ロータリーそれから高槻東ロータリーと二つ作りまして、今はメンバーが50人くらいです。段々メンバーが減ってきましたけれども、私たちが高齢化してきて、半分以上が70歳以上です。最近何となく減りましたが中々難しい現状があります。このように大きなメンバーのRCに来るのは久しぶりです。また何か縁がございましたらよろしくお願いたします。



クラブ協議会 (活動報告)

会場監督 高橋 勇雄 会場監督



今年度は、例会のプログラムにそって、当日のメーキングプログラムを含め、内容と席割を事前作成、SAA・会長・幹事・事務局・関係者に毎週メール配信、例会に臨みました。

新たな取り組みとして、昼食時の談話テーマを月1回程度導入としました。

食事時間の話題は、先輩や、肩書きの重い人声の大きい人の話題になりがち、その解消として、月に一度議題を提示し、皆で話題を共有して頂くのが狙いです。

結果→プログラムが盛りだくさんで、食事時間がタイトとなり、食事時間の多い時に限定となりました。

進行をスムーズにするために、4つのテストとソングリーダーには会場袖に椅子を用意し待機して頂き、幹事のアナウンスに即対応出来る様にしました。

結果→年間担当予定を頂いていましたが、担当の当日休みが多く、直前要請で苦慮する場面が多くなりました。

※変更の場合は、各委員長より事前連絡の必要性必須となります。

そして重視したのがパッチの着用チェック：パッチ忘れの会員には、注意喚起、着用は基本ですので習慣で身につける様促しました。

※時には、会場入り口でパッチの購入をお願いして付けて頂く事も有り、ご協力に感謝しております。

SAAの強化：期の途中で、SAA2名の人員補充が行われました。万全を期すのが狙いです。

総称していえば、今年度のSAAは積極性にあふれ、頼もしいメンバーに恵まれ、11時過ぎには大半が揃い、数度開いた反省会にも毎回全員出席と、どの委員会にも誇れる委員会と自賛しております。

会員増強委員会 笠 雅樹 委員長



今年度は73名でスタートさせて頂きましたが、会員増強委員会では今年度の目標として「会員の平均年齢低下」、「3名以上の純増」ということで目標掲げておりました。

今年度は73名の方に入会頂きましたが6名の退会がございまして、マイナス3名で70名の会員となっております。

先週、小坂会員のご紹介で73名の方と面接をしておりますので、来年度のスタートとして73名の方のスタートとなると思いますが、尽力ならなかった点は皆さんにお詫びしたいと考えております。

入会も大事ですが皆さん退会なさらないのが一番大事じゃないかなとも考えておりますので、皆さんなるべく長く続けていただけるようお願いしたいと思います。

クラブ奉仕管理委員会 兼 プログラム委員会 鈴木 光一 委員長



福島南ロータリークラブ 2018~2019年度、吉田和義会長の活動方針「例会を楽しもう」に基づき会員の皆様楽しく集う例会運営、多くの会員の方が奉仕活動に参加頂き親睦を深めて頂きました。クラブ奉仕管理委員会・プログラム委員会より報告を致します。

①会員増強委員会：現在新会員・目標2名を達成しておりますが諸事情により退会者があり新たな増強への取組を考えて行かなければならない課題も残りましたが、2名の新会員の入会に尽力を頂きありがとうございました。

②職業分類・会員選考委員会：コード別で職業分類21のコードの方々登録されておりバランスがとれた多くの業種の方が現在在籍しております。

③親睦活動委員会：メンバーが悪いを込めた納涼会は屋台村にてロータリー家族が楽しく過ごせた事・家族クリスマス忘年会・ポールハリス夜間合同例会・家族観桜会と夜間例会を盛り上げて頂きました。

④ロータリー情報委員会：クラブ会報・ガバナー月信・ロータリーの友購読の推進・マイロータリーへの登録など含めて会員への意識向上に努めて頂きました。

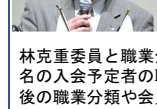
⑤クラブ広報・雑誌委員会：ロータリーの友を毎月例会時に該当月の読みどころを紹介・奉仕活動など取材依頼し新聞への掲載など含めて、情報提供や広報活動に努めて頂きました。

⑥クラブ会報委員会：工夫した例会会報の発行、クラブのホームページへの掲載やペーパーレスの推進に委員会の皆様がお互いに協力してタイムリーな情報を発信して頂きました。

⑦出席委員会：月ごとに出席表の配布などに努めて頂きました。

⑧スマイリングBOX委員会：毎例会時にスマイルに協力頂いた方のコメントの発表など含め目標達成に向けて努力して頂きました。

職業分類・選考委員会 大野 順道 委員長



前期2名の入会予定がありました。また、管で在籍していた方の未充填の職業として、会員増強委員会委員長と司法書士の方に当たって頂きましたが、残念ながらいづれも会員選考までには至りませんでした。

後期、4月25日、武蔵正隆副委員長、林克重委員と職業分類・会員選考委員会を開催致しました。3名の入会予定者の職業分類について検討致しました。また、今後の職業分類や会員増強について意見を交換しました。その中には、衛星クラブや二世代会員等の話が出ました。

5月17日事務局において、会長、会員増強委員長、立会いのもと、入会希望者3名と面談を致しました。ロータリーの3つの義務(会費納入、例会出席、「ロータリー」の購読)とクラブの活動内容を説明いたしまして、薄田幸弘氏と合わせて、4名の方の会員推薦書にサインを致しました。

今後も職業分類・会員選考を行ってまいります。皆様には、司法書士の方や、未充填の職業の方のご推薦を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

ロータリー情報委員会 横山 りつ子 委員長



1 9月19日(水)新会員オリエンテーション開催、出席25名の内新会員8名参加。佐久間功バスト会長を講師とし「年次計画書活用について」で講演、スマイリングBOX、ロータリー財団および米山奨学会の基金の種類・内容の理解促進とあらゆる奉仕活動に必要なことを周知し新会員および先輩会員に理解を促した。2 9月19日(水)全会員セミナー開催、出席37名。高橋勇雄バスト会長を講師とし「ロータリー活動に東日本大震災が影響したもの」で講演、会員増強は増ではなく強(維持)、会員の使命・役割は地区内外からの奉仕および支援を得て、その後の当クラブ奉仕活動に進化をもたらすことなど踏まえて新たな認識を深めた。3 1月30日(水)福島21RCとのボールハリス合同追悼例会において、廣澤俊樹バスト会長によるボールハリスに因んだスピーチを実施し、相互扶助と友愛の素朴な団体から国際的な視野を持つ団体に発展した経由を再認識した。4 新会員に対し、例会を楽しみながらクラブと会員相互の友愛と親睦を深める雰囲気をつくり、さらにロータリーを学んで頂くためロータリー情報冊子を提供した。5 全会員のマイ・ロータリーへの関心を深めるとともに登録を推進しRI会長賞に挑戦すべく会員の意識向上を図った。登録率は2月現在76.4%である。6 地区セミナー及び分区分行事で得た最新情報の共有のもと、あらゆる奉仕活動への積極的な参加を促したことで参加会員数が増えた。7 例会の出席、クラブ会報や地区月信およびロータリーの友の購読を推進した。8 本年度ホストである東北第一分区分区1Mは2月8日(金)クラークリアンテサンパレスに於いて138名参加で開催され、佐久間功実行委員長のもと全ての会員による役割への理解促進と共に責任を果たすべく情報を提供した。東京麹町RC久保田智也直前会長を講師とした「ポリオ撲滅にむけて」の基調講演の後、グループ討論を開催し「会員増強とクラブ改革」「ポリオ撲滅への取り組み」をテーマとしたそれぞれのクラブの現況、問題点の提起等活発な討議を行った。

クラブ会報委員会 赤間 浩一 委員長



今年度は吉田会長からの要望を重点項目として会報の作成を実施してまいりました。1 写真撮影の工夫：例会の流れを止めない様に動画で写真撮影を実施しました。結果的に動画の中から写真を選ぶ事が出来たので、目線や動きをとらえる事が出来たので有効な写真を掲載することが出来たと思います。2 理事会情報の掲載：会報の中に理事会情報を掲載し会員全員で情報の共有が出来るように実施しました。3 会報のペーパーレス：実施するのが年度終盤になってしまいましたが、多くの会員の方のご協力により無事に実施する事が出来ました。4 その他：(1)委員間の連絡はライングループで、また会報の写真やスピーチ原稿データはクラウドストレージサービスの『ドロップボックス』にて事務局を交えて情報の共有を実施しました。(2)本日の例会プログラムを掲載して例会進行を分かりやすくしました。

スマイリングBOX委員会 穴戸 隆司 委員長



今年度は、副委員長に渡邊正義 会員、委員として渡辺勇 会員、高橋和之 会員、国分秀夫 会員、本田任 会員と私穴戸の6名にて担当いたしました。各委員は相互に協力し合い、1年間会員の皆様にお声を掛けさせていただきました。また、実績についてもタイムリーに報告を行い意識の高揚を図って参りました。しかしながら、例会数が40回と例年より5回少ない実施であり、目標額を200万円と予算の調整はいただきましたが、厳しいスタートとなりました。1年を通じて会員相互の親睦や活動の活性化が少し鈍ったのかなと私自身のリーダーシップの無さを反省しております。また今後においては、会員の増強や出席率の向上など他の委員会との連携も必要なのかなと感じております。今年度達成が厳しいと思われませんが、最後まで委員全員で皆様の協力を仰ぎたいと思いますのでお願いいたします。

クラブ広報・雑誌委員会 河谷 元 副委員長



クラブ広報・雑誌委員会は、公共イメージの向上に繋がるようにクラブの奉仕活動を新聞や雑誌などに掲載し、当クラブの活動を広報いたしました。又、吉田会長の年度目標「例会を楽しもう」に合わせ、ゲストスピーチ5人の招聘で例会を盛り上げる運営を心掛けた。

【クラブ広報】

1 8月1日 家族夜間例会 in 屋台村 2 8月29日 福島成蹊高等学校生徒への奨学金授与 3 10月3日 米山奨学生 ヴォティテュ氏 4 10月10日 米山奨学生 蔡騰輝氏 5 10月21日 猪苗代湖漂着水草回収作業 6 10月28日 第21回「大声杯」リトルリーグ野球大会 7 11月9日 福島消防署防火パレード 8 1月25日 福島市立杉妻小学校にロータリー文庫寄贈 9 4月7日 花野山児童支援事業 福島愛育園園児 以上、地元地方新聞に取材依頼をして掲載されました。当クラブのホームページを7月1日よりリニューアルし、会長・幹事の挨拶文をアップしました。又、「クラブ会報」を早めにホームページに掲載し広報に努めました。

【雑誌委員会】

雑誌委員会は、2018年7月より毎月担当者の視点で「ロータリーの友」読みどころを紹介いたしました。ロータリーの友に、喜多方ロータリークラブインターアクトクラブと福島成蹊高校のインターアクトクラブの合同例会交流会と、モンゴル研修旅行について投稿しました。モンゴル研修旅行に参加しては、1月号の縦組み16P「友愛の広場」に掲載されました。又、12月号の「ガバナー月信」にも掲載されました。

出席委員会 斎藤 ミヨ 委員長



本年度は副委員長に植木洋司さん 委員に吾妻 学さん渡邊和裕さんの4名で行いました。とにかく各委員会の方々のご協力なくして奉仕活動はできません、皆さんのメーキャップを含め100%の出席に感謝申し上げます。なるべく会員相互のコミュニケーションをまとめる為に、あちらこちらの席に座ったつもりですけれどもどうしても偏ってしまったような感じもいたします。家族納涼会や家族クリスマス会には出席委員としてお手紙を出して家族の方に出席を促しましたところ、ある奥さんからお言葉をいただきまして、出席いたしましたという大変ありがたいお話をいただきましたので、これからも継続いただければと思っております。出席の状況は配布の通り分かっていると思います、例会もあと4回となりましたので、是非100%を目指してご協力よろしくお祈りいたします。

1 審議事項

- (1) 創立50周年記念式典・祝賀会実行委員会委員長の選任について ⇒ 菅原節子実行委員長の選任により、鈴木恒明顧問が実行委員長に選任され承認された。
 - (2) 退会届について ⇒ 菅原節子会員から、6月末で退会ということで退会届が提出され、承認された。
 - (3) 次年度副会長選任及び委員会組織の訂正について ⇒ 副会長 鈴木恒昭、委員長 林克重が選任され承認された。
 - (4) 細則見直しについて ⇒ 退会時の精算について、それまでの負債は全て精算して頂くということで承認された。
- 2 報告事項
- (1) 各委員会報告 ※抜粋
 - ・海老根潤 青少年奉仕委員長より：5月12日危機管理セミナーが今回初めて開催されますので、出席して参ります。

— 今後のプログラム —

- ・6月5日(水)休会
- ・6月12日(水)会員スピーチ(菅野和江 会員)、ゲストスピーチ(福島養護学校進路指導主事 安藤 真一 様)
- ・6月19日(水)移動例会：山水荘 新旧委員会歓迎会

— 地区情報・第一分区分区・関連情報 —

- ・6月7日(金)東北第一分区分区新旧合同会長・幹事会(初辰巳屋)
- ・6月12日(水)次年度第1回理事会・新旧合同理事会
- ・6月16日(日)福島南RCゴルフコンペ(民報コース)
- ・6月22日(土)麻葉撲滅運動(街なか広場)

— 5月29日(水)の例会プログラム —

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 開会点鐘 | 9. クラブ協議会 活動報告② |
| 2. ロータリーソング | ①奉仕プロジェクト管理委員会 |
| 3. 四つのテスト唱和 | ②職業奉仕委員会 |
| 4. 来訪者紹介と会長挨拶 | ③社会奉仕委員会 |
| 5. 第7回全国インターアクト研究会参加報告 | ④国際奉仕委員会 |
| 6. スマイリングBOX報告 | ⑤青少年奉仕委員会 |
| 7. ロータリー財団功労者表彰及び米山功労者表彰 | ⑥ロータリー財団委員会 |
| 8. クラブ協議会 活動報告① | ⑦米山記念奨学会委員会 |
| ⑤親睦活動委員会 | ⑧戦略計画委員会 |
| | ⑨各委員会報告 |
| | 11. 閉会点鐘 |

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字過吹6-2ガ・マイアィ 1F2号室 TEL:024-546-3793 FAX:024-545-7878
HP: http://www.inaka.ne.jp/southrotary MAIL: f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会場：クラークリアンテ(旧物バ以福島) 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL:024-523-3811(代) FAX:024-523-0375